

はごろも祭りでまちづくりパネル展を開催しました！

第46回宜野湾はごろも祭りが9月30日(土)から2日間開催されましたが、はごろも祭り2日目となる10月1日(日)に、15年ぶりに「まちづくりパネル展」をブース出展しました。

まちづくりパネル展では、小学生(普天間第二小、大山小)の考えた将来のまちづくりイラスト、若手の会の活動紹介、跡地利用計画のパネルなどの展示を行いました。

当日はあいにくの荒天でしたが、多くの若手の会メンバーのご参加・ご協力のもと、来訪者のうち50名以上の方々にアンケートをご回答いただきました。

出展内容をより充実させ、今後も継続してパネル展を開催していきたいと考えています。



小学生イラスト展示のようす



パネル展当日のようす



アンケートのようす

パネル展アンケート結果

Q1. 性別、年齢、住まいを教えてください。

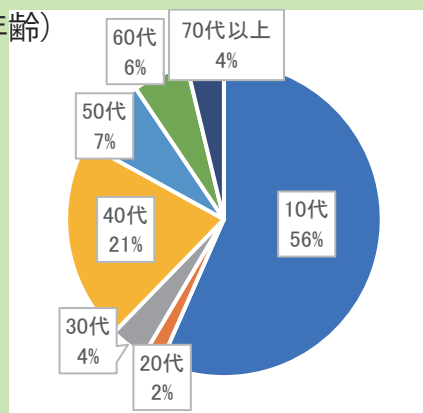
(性別)

- ・男 16件
- ・女 37件
- ・無回答 2件

(住まい)

- ・宜野湾市内 44件
- ・宜野湾市外 9件
- ・無回答 2件

(年齢)



Q2. 今回のパネル展で普天間飛行場返還後のまちづくりに興味を持てましたか。

- ・興味を持てた 55件
- ・興味を持てない 0件

Q3. 本ブースでどのような点に興味をもてましたか。

- ・パネルを通してさまざまな取り組みが知れたこと 51件
- ・プロモーションビデオで跡地利用計画の全体像を知れたこと 11件
- ・跡地利用計画をクイズ形式で楽しめたこと 7件

Q4. 若手の会では、今年度の検討テーマを「賑わいを創出する空間」として検討を進めています。

あなたの考える「賑わいに欠かせないもの」のイメージを教えてください。

- ・高齢者も楽しめる植物園 ・展望台(高さを生かす)
- ・公園 ・水族館 ・テーマパーク ・スポーツ施設
- ・サーキット・ 巨大高級ショッピングモール ・鉄道
- ・博物館

【地権者支援情報誌「ふるさと」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
〒901-2710 沖縄県宜野湾市野高一丁目1番1号
電話 098-893-4401(直通) FAX 098-892-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口(宜野湾市基地政策部まち未来課)でも提供しております。
情報収集や跡地利用に係る要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用ください。



ふるさと

vol.57

2023 October
発行

宜野湾市基地政策部まち未来課

地権者支援情報誌「ふるさと」では、普天間飛行場跡地利用に関する最新情報をお伝えします。

地権者意見交換会を開催します！

普天間飛行場跡地利用に関する地権者の皆さまのご意見を伺い、跡地利用計画に反映させることを目的に、今年も地権者意見交換会を下記日程で開催します。

今年は、過去に実施したテーマから、特にご好評いただいた3つのテーマを選定し、開催日ごとにテーマを分けて実施します。あわせて、最新の取り組み状況についてもご報告申し上げます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日	意見交換テーマ	時間	会場
11/4(土)	経済効果をあげる土地利用	14:00~15:30	宜野湾市役所多目的会議室A・B (市役所正面玄関前)
11/7(火)	道路交通等のまちづくり	14:00~15:30	J Aおきなわ宜野湾支店会館 2階会議室
11/10(金)	みどりの中のまちづくり	14:00~15:30	J Aおきなわ宜野湾支店会館 2階会議室

【意見交換会の内容】 意見交換会当日は、1～3の流れですすめていきます。

1. 普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けた取り組み状況



プロモーションビデオの放映と合わせて最新の取り組み状況を説明します。

2. 若手の会からの報告



会の活動とこれまでの検討内容を分かりやすく説明します。

3. 意見交換



テーブルに分かれて意見交換を行います。

皆さまと若手の会メンバーの県内バスツアーご案内

11月26日(日)に、「人が集まるにぎわいある場」をテーマとして県内バスツアーを行います。

詳細は地権者意見交換会で詳しくお知らせし、参加募集を行います。
多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

おまちしています



若手の会の活動内容

若手の会とは？

- ・普天間飛行場跡地利用に向けた地主側の組織として、普天間飛行場返還後のまちづくりをけん引する人材の育成と若い世代の意向把握を目的として平成14年に発足しました。
- ・跡地利用について地権者の立場で検討し、意見を発信する場として活動しています。

令和4年度の活動内容

- ・「周辺市街地との連携」をテーマに設定し、定例会の中で検討を進めました。
- ・まず、周辺のまちと連携・連続性を構築するにあたって必要となる要素について議論し、今から地権者としてどのようなこと・取組ができるのかを取りまとめました。
- ・「今から地権者としての取り組めること」については、道路の整備といったハード面よりもソフト面の意見が多かったことから、その結果を踏まえて今年のフィールドワーク実施に繋がっています。

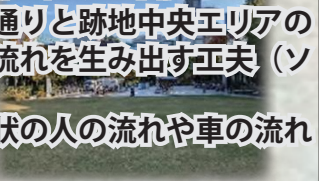
令和5年度の取り組みについて、若手の会においては、令和4年度の実践成果を踏まえ、今年度の若手の会検討テーマ「賑わいを創出する空間のあり方」を設定して検討を進めています。また、地権者の皆さまとの県内バスツアー、県外視察及び講師を招聘した勉強会の開催、地権者意見交換会への参加など積極的に活動しています。今年度の取り組み結果については、次回以降のふるさとでご紹介する予定です。

他にも、自治会長会や女性団体連絡協議会との個別意見交換会の開催、市内小学校（普天間第二小、大山小）への出前講座など、様々な取組みを進めています。

※誌面の都合上、一部のみ掲載しています。全てをご覧になりたい方は、右のQRコードを読み取っていただくことで確認することができます。



「周辺市街地との連携」に関する若手の会の考え

周辺市街地との連携の要素	今から考えられること	今から取組めること	他の計画との整合	計画内容の具体化との関連性
緑の中のまち ▶ 普天間飛行場周辺にある多くの公園と普天間飛行場跡地から創出されるみどりは連続性を持ち、 緑のネットワーク を作りたい。 ▶ サイクリングロードや遊歩道など、 大規模公園とのつながり があればよい。（地権者） ▶ 普天間飛行場縁辺部の土地利用と連続性をたもちたい。	▶ サイクリングロードや木陰のある遊歩道を整備 （ハード面）  ▶ サイクリングロードや木陰のある遊歩道を利用したくなるような工夫や安全なルールづくりの活用できる取組み（ソフト面） ▶ 公園が持っている価値と公園に面して（接して）いるエリアの持つ価値や空間が、どう地域に関わってくるのか考えるべき。 （立飛）（ソフト面）  ▶ 周辺市街地の規模感を把握し、周辺市街地の土地利用の受け皿としてどの程度活用できそうか、現状の土地利用状況を把握する。	▶ 【共通事項】 23の自治会 とのネットワーク、 ワークショップ などを通して、意見を聞いていく。 ▶ 【共通事項】 現状の利用状況の把握や活用できる用地などを探索する 地域のまちあるき を行う。  	● みどりの拠点として自然環境を維持・保全 ● 街路樹や沿道宅地等のみどりで構成する「みどりの回廊」の確保	● 跡地と周辺市街地にまたがる生活圏の形成 周辺市街地から利用しやすい公園・緑地等の配置の在り方に関する検討 ● 周辺市街地の再編 跡地と周辺市街地の境界部分における各種規制・誘導手法の検討 ● 周辺市街地における環境づくり 景観や緑の新たなネットワークを形成する地区等の検討や空間づくりに向けた手法、実現性に関する検討
コミュニティ形成 ▶ 旧字単位の住民コミュニティを普天間飛行場跡地のまちも含めて継続していきたい。	▶ 共に同じ活動（イベント）を通して共通のビジョンを浸透させていくことが必要（立飛）（ソフト面） ▶ 地域内外のバランスのよい情報発信の仕方が課題 （UDCK）（ソフト面）	▶ 【共通事項】 23の自治会 とのネットワーク、 ワークショップ などを通して、意見を聞いていく。 ▶ 現状の利用状況の把握や活用できる用地などを探索する地域の 地域のまちあるき を行う。 ▶ 公共空地を活用した にぎわい創出に向けたイベント の実証実験を行う。		
訪れたい拠点形成 ▶ 近隣市町村や市内の各種資源 （中城城跡、普天満宮など）との連携 ▶ 交通結節点 （インダストリアルコリドー地区）との連携	▶ ただ散歩だけのために訪れるなどで利用する場所があることで、周辺からの来訪者も増え、地元愛につながる。 （立飛）（ソフト面） ▶ ヒルズ通り、いすのき通りと跡地中央エリアの商業地と連携し、人の流れを生み出す工夫 （ソフト面）  ▶ 周辺市街地における現状の人の流れや車の流れを把握 （ソフト面）	▶ 【共通事項】 23の自治会 とのネットワーク、 ワークショップ などを通して、意見を聞いていく。 ▶ 公共空地を活用した にぎわい創出に向けたイベント の実証実験を行う。 ▶ バス乗車体験 し、バスを降りたい空間のポイント探しを行う。	● 広域的な交通施策の動向を踏まえながら、交通結節点としての機能導入 ● 誰にとっても居心地がよく歩きたい環境が整備、まちなかを回遊できる市街地環境の整備・改善 ● 来訪者の利便性向上を図るため、新たな駐車場システムの構築や駐車場施設の整備検討	● 中南部都市圏の動向を踏まえた周辺市街地との効果的な役割分担 集客圏域等を意識した適切な機能導入の連携
道路交通ネットワーク ▶ 周辺のまちの 道路渋滞解消に繋がる ような、跡地内の道路整備がなされるとよい（地権者） ▶ 既存の道路ネットワークと普天間飛行場跡地内道路ネットワークへスムーズなつながりがあるとよい。	▶ 新しい道路を整備しても渋滞が考えられるため、 自転車道や公共交通を利用するシステム が必要（地権者意見交換会）（ハード・ソフト面）	▶ 【共通事項】 23の自治会 とのネットワーク、 ワークショップ などを通して、意見を聞いていく。 ▶ 【共通事項】 新たな公共交通の在り方を考える上で、 バス乗車体験 で何が課題かを体感する。	● 基幹バスシステムとの連携等による公共交通の利便性向上	● 周辺市街地における幹線道路の整備 周辺市街地整備から見た道路構造・ルートの選定 ● 周辺市街地における供給処理施設等の整備 周辺市街地における都市基盤技術等の展開